

令和7年4月21日

佐世保高専初、ネーミングライツ施設開設の記念式典を開催

～株式会社名村造船所とネーミングライツ契約を締結～

【オープニングセレモニー：4月30日(水)15:15～@佐世保工業高等専門学校】

独立行政法人国立高等専門学校機構佐世保工業高等専門学校(所在地：長崎県佐世保市沖新町1-1、校長：下田貞幸、以下「佐世保高専」と)と株式会社名村造船所(本社：大阪市西区、代表取締役社長：名村建介、以下「名村造船所」)は、佐世保高専施設のネーミングライツ(施設命名権)取得に関する「ネーミングライツ事業に関する契約書」(以下「本契約」)を締結しました。

佐世保高専は、教育環境の向上を図ることを目的に、「佐世保工業高等専門学校ネーミングライツ事業規程」を令和7年1月に制定しました。

このたび、福利厚生施設「敬愛館」内の食堂(以下「本施設」)に関するネーミングライツ・パートナーの公募を実施し、校内での審査を経て名村造船所をネーミングライツ・パートナーに決定しました。

本施設は、福利厚生施設「敬愛館」内にある食堂施設で、ランチタイムには多くの学生で賑わいます。



名村造船所 食堂

本施設に設置された愛称名看板

令和7年4月1日から3年間、同施設の愛称は「名村造船所 食堂」となります。なお、佐世保高専のネーミングライツ契約は、本契約が初となります。

佐世保高専は、1962年に国立高等専門学校の第一期校として日本で初めての九州地区で唯一の高専として設立されました。「創造性と実践力に富むとともに、豊かな教養と人間性、国際性を備えた、社会に貢献できる人材を育成すること」を教育理念として、5年間一貫の専門教育による知識と技術を融合した実践的な教育を行っています。また、急速に変化している社会に対応するため、デジタル人材育成、半導体人材育成、アントレプレナーシップ教育、国際化等にも積極的に取り組んでいます。

ネーミングライツ・パートナーとなる名村造船所は、海上輸送機器や海洋工事などの船舶海洋事業と、鉄構工事や建設機械などの鉄構事業を展開する総合メーカーです。創業から百十余年、タンカー、バルクキャリアー、LPG 船といった、全長 300m を超える大型船舶の建造、日本の国土を支える橋梁などのインフラ整備に、確かな技術力で応えてきました。伊万里事業所(佐賀県伊万里市)では、世界中で活躍する船舶や地域を

つなぐ橋梁を送り出しています。

本契約締結を機に、佐世保高専と名村造船所は連携して、「名村造船所 食堂」の愛称が多くの学生に親しまれ定着するよう努めてまいります。

「名村造船所 食堂」のスタートを記念し、下田貞幸佐世保高専校長並びに酒井徹名村造船所生産業務本部工場管理部長(佐世保高専卒業生)出席の下、オープニングセレモニーを下記のとおり執り行います。つきましては、本オープニングセレモニーの取材についてご案内します。

■オープニングセレモニー概要

【日 時】4月30日(水)15:15~15:30

【場 所】佐世保工業高等専門学校

福利厚生施設 敬愛館1階「名村造船所 食堂」

【所在地】佐世保市沖新町1-1

【出席者】下田貞幸 佐世保工業高等専門学校校長

酒井徹 名村造船所伊万里事業所生産業務本部工場管理部長

ほか関係者



■ネーミングライツの概要

1. ネーミング ライツ・パートナー	(1)法人名:株式会社名村造船所 (2)本社:大阪市西区立売堀2丁目1番9号 日建ビル8F 伊万里事業所:佐賀県伊万里市黒川町塩屋5番地1 (3)代表者:名村建介
2. 対象施設	福利厚生施設敬愛館 食堂 延べ床面積:121㎡
3. 愛称名	名村造船所 食堂
4. 協定期間	令和7年4月1日~令和10年3月31日
5. 愛称の使用	施設前にサインの掲示
6. 付帯権利	施設内にパートナーの企業紹介ボードを設置



名村造船所 食堂

【本件に関するお問い合わせ先】

佐世保工業高等専門学校
総務課総務企画係 松永
TEL:0956-34-8406

株式会社名村造船所
経營業務本部 総務部 人事教育グループ 池田
TEL:0955-27-1121

以上